

ブジュンブラ港改修計画【ブルンジ】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ブルンジ共和国
(2) 案件名	ブジュンブラ港改修計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	ブジュンブラ港の施設改修・船舶修理施設整備により、同港の貨物取扱量の増大、輸送コストの削減及び船の安全性向上を図り、もって輸出入量の増加促進及び、湖上輸送の効率性・安全性向上に寄与するもの。 事業内容 ・ コンテナターミナルの建設 ・ 船舶修理施設の建設 ・ 排水路の移設 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成26年5月20日（当初贈与）/令和3年2月12日（追加贈与①）/令和5年7月21日（追加贈与②） イ 供与限度額：28.00億円（当初贈与）/33.67億円（追加贈与①後）/35.18億円（追加贈与②後）
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、3%～5%の堅調な経済成長を続け、輸入量が増加しており、老朽化した設備の改修や貨物増に備えた施設の整備が喫緊の課題となっていた。その後、政治的混乱等により取扱貨物量は一時落ち込んだものの、治安の回復等により増加する取扱貨物量に対応し得る施設の改修・整備が必要となっており、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 クーデター未遂（2015年）により事業停止、新型コロナウイルス感染症による工事一時中止、タンガニーカ湖の水位上昇に起因するボイリングの発生（2022年）

	の影響により、事業が遅延したが、2025 年 3 月に完工。現在は完工後の精算手続きを行っている。
(2) 今後の対応方針	上記 (1) イのとおり、工事を全て完了しており、引き続き精算手続きを進める。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料